

《資料Ⅰ》

教科種目名【音楽（音楽）】

発行者の略称	教出	書名	音楽のおくりもの
<p>教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連</p>			<p>□教育基本法第2条に示されている「幅広い知識や教養、豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、我が国及び諸外国の音楽から、様々な時代の曲種が取り上げられている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項に示されている「心身の発達に応じて、体系的な教育が行われること」に関連して、題材の部分とその他の部分（「音楽ランド」「めざせ楽器名人」「音のスケッチ」など）の特設ページが設定されている。</p> <p>□学校教育法第30条に示されている「基礎的な知識及び技能」や「主体的に学習に取り組む態度」を養うことに関連して、基礎となる学習（習得）と学習の広がり（活用）の二つに題材群が分けられ、紙面左上に「学習のねらい」または、「学習のポイント」が示されている。</p> <p>□学習指導要領の教育内容の主な改善事項「言語活動の充実」に関連して、児童自らが聴き取ったことや感じ取ったことを言葉で表し、書き込めるワークシートが掲載されている。</p>
<p>かながわ教育 ビジョンとの 関連</p>			<p>□「たくましく生きる力」に関連して、友達と考えて表現を工夫する活動などが扱われている。また、全校で一つの表現活動を行うことができる合唱奏曲が2曲取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、さまざまな楽器の演奏者、日本や世界の祭りで演奏する人や踊る人が写真で紹介されている。また、4年生以上の教科書の巻頭に、演奏家からのメッセージが掲載されている。</p>
<p>内 容</p>			<p>□全学年共通に設定された「にっぽんのうたみんなのうた」を中心に、季節の歌、自然の歌、心の歌などのテーマで日本の歌が掲載されている。</p> <p>□鑑賞では、発達の段階に応じた教材が配列されている。また、言語活動の充実を図るために、具体的な活動例やワークシートが示されている。</p> <p>□音楽遊びや旋律づくり等の音楽をつくる活動では、題材に関連して「音のスケッチ」を中心に、具体的な学習活動が示されている。</p> <p>□〔共通事項〕アを「音楽のもと」という名前で示し、そのページで学習する「音楽のもと」を、ページ右上のインデックスに表示している。</p> <p>□低学年ではわらべ歌や祭りの音楽、中学年では日本や世界の遊び歌、お囃子や民謡、高学年では日本と世界の音楽が取り上げられている。また、楽器や祭りの様子の写真が折り込みのページで示されている。</p> <p>□神奈川県箱根を歌った「箱根八里」の教材が取り上げられている。</p>
<p>構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁</p>			<p>□3年生以上には中間折り込みページ、全学年には巻末折り込みページがあり、楽器や祭り、民謡、「季節の歌」、音楽を表すいろいろな言葉、運指表や音符や記号等の名称・意味などが掲載されている。</p> <p>□判型はA B判である。1年生から3年生には透明シートが設定されている。</p> <p>□「この教科書はカラーユニバーサルデザインに配慮して、見やすいカラーデザインになっています。また、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。」と表示されている。</p>
<p>表記・表現</p>			<p>□各学習のポイントを示すテントウムシのマーク、前の学習を振りかえるカエルのマーク、参考ページを示す矢印のマークなどが表示されている。</p> <p>□巻末の「音楽のもと」のまとめで、各学年、〔共通事項〕アについてイラストを使った説明が掲載されている。</p> <p>□「茶畑」「こいのぼり」「さくら」「富士山」などの写真を折り込みページで掲載されている。</p>

《資料Ⅰ》
教科種目名【音楽（音楽）】

発行者の略称	教 芸	書 名	小学生の音楽
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>□教育基本法第2条に示されている「幅広い知識や教養、豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、6年間を通して系統的な題材設定のもと、題材に即した教材が取り上げられている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項に示されている「心身の発達に応じて、体系的な教育が行われること」に関連して、全学年に題材の部分と「歌いつごう日本の歌」や「みんなで楽しく」の曲集が共通して掲載されている。</p> <p>□学校教育法第30条に示されている「基礎的な知識及び技能」や「主体的に学習に取り組む態度」を養うことに関連して、各題材のねらいに迫るための学習内容（目標）や学習活動を展開するための具体的な手だてが紹介されている。</p> <p>□学習指導要領の教育内容の主な改善事項「言語活動の充実」に関連して、子どもたちの発言例を吹き出しで示し、音楽から感じ取ったことを発表する活動や話し合ったり書いたりする活動が取り上げられている。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>□「たくましく生きる力」に関連して、グループで協力して話し合い、音楽づくりをする活動が取り上げられている。また、3年生から6年生の「心をつなぐ歌」では、友達への思いや助け合う心を歌った曲が掲載されている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、さまざまな楽器の演奏者、日本や世界の祭りで演奏する人や踊る人が写真で紹介されている。また、3年生以上の巻末には、代表的な作曲家のプロフィールやエピソードが紹介されている。</p>		
内 容	<p>□「歌いつごう 日本の歌」が全学年設定され、楽譜に全歌詞を紹介している。また、「こころのうた」として歌唱共通教材を目次にまとめている。</p> <p>□鑑賞では、題材のねらいに即した教材が配列されている。また、言語活動の充実を図るために、具体的な活動例やワークシートが示されている。</p> <p>□音遊びやリズム遊び、音楽をつくる活動には、目次に虹マークが示され、題材に関連して設定され、学習活動の手順が具体的に示されている。</p> <p>□〔共通事項〕アを含めたさまざまな音楽的な要素を、学習内容や学習活動文などに示している。</p> <p>□低学年ではわらべうた、中学年ではお囃子や民謡、高学年では日本と世界の音楽が扱われている。3年生からは鑑賞資料のページに「郷土の音楽」「民謡」「日本の楽器」が取り上げられている。</p> <p>□神奈川県箱根を歌った「箱根八里」の教材が取り上げられている。</p>		
構 成 分 量 装 丁	<p>□3年生以上の巻頭の「音楽プリズム」では、音楽のよさや役割が示されている。巻末には2ページにわたって、運指や音符・記号の名称、意味が掲載されている。</p> <p>□判型はA B判である。各ページの右上のインデックスが題材ごとに色分けされている。</p> <p>□「この教科書は、すべての児童にとって分かりやすい色づかいになることを目指して、色の見分けのつきにくい方々からの助言を得て編集・制作されています。」と表示されている。</p>		
表記・表現	<p>□くまのキャラクターが吹き出しの中で、学習のめあてやアドバイス、ヒントを取り上げている。</p> <p>□〔共通事項〕アを各学年巻末の「ふり返りのページ」に示し、その学年の学習内容がまとめて掲載されている。</p> <p>□全学年、裏表紙に日本各地の「祭りと楽器」の写真が掲載されている。</p>		

《資料Ⅱ》

教科種目名【音楽（音楽）】

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

○教育基本法第2条及び第6条第2項の内容

<p>第2条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	
教出	<p>低学年では友達と仲良く体を動かしながら遊んだり、交互に関わりあったりしながら表現をする教材が扱われ、中学年ではアンサンブル教材などのグループで表現に取り組む活動、高学年では互いによく聴き合い友達と心を合わせて表現する学習内容が扱われている。1年生から6年生全校で歌える合唱奏曲を取り上げ、全校で一つの表現活動を行える構成になっている。</p>
教芸	<p>低学年では友達と挨拶や握手をしながら楽しく表現したり、遊びを通してふれあう教材が扱われている。中学年では音楽づくりのリズムアンサンブルで友達と協力しながら音楽をつくらうとする学習内容が扱われている。3年生から6年生の「心をつなぐ歌声」では友達への思いや助け合う心を歌った、ともに生きていこうとする歌が掲載されている。</p>
<p>二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	
教出	<p>身の回りの音や虫の音などに気付かせる活動が示されている。様々な楽器の演奏家、歌劇の役者、祭りでの演奏者や踊る人などが写真で紹介されている。また、作詞、作曲者が紹介されている。4年生から6年生までの巻頭では、演奏家からの音楽の素晴らしさを伝えるメッセージが掲載されている。</p>
教芸	<p>身の回りの音や虫の音などに気付かせる活動が示されている。声楽家、様々な楽器の演奏者、日本や世界の祭りで演奏する人や踊る人などが写真で紹介されている。3年生から6年生の巻末では、歴史上の著名な作曲家について触れられている。</p>
<p>三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	
教出	<p>低学年では友達と体を動かしながら遊んだり、関わりあったりしながら表現する教材が扱われ、中学年ではアンサンブル教材などのグループで表現に取り組む活動、高学年では互いに聴き合い、ともに表現する学習内容が扱われている。全校で歌える合唱奏曲を取り上げ、全校で一つの表現活動を行える構成になっている。また、復興支援ソング「花は咲く」を取り上げ、被災地で活動した管弦楽団の活動も掲載されている。</p>
教芸	<p>低学年では友達と挨拶や握手をしながら楽しく表現したり、遊びを通してふれあう教材が扱われている。中学年では音楽づくりのリコーダーリレーで友達と協力しながら音楽をつくらうとする学習内容が扱われている。3年生から6年生の「心をつなぐ歌声」では友達への思いや助け合う心を歌った、ともに生きていこうとする歌が掲載されている。また、被災地の避難所などで歌われた「あすという日が」が6年で掲載されている。</p>
<p>四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	
教出	<p>1年から6年まで「にっぽんのうたみんなのうた」の題材を中心に、生命や自然を歌う教材曲が取り上げられている。また、日本の風景や美しい自然の写真が見開きの3ページにわたって掲載されている。</p>
教芸	<p>共通教材「こころのうた」を中心に生命や自然を歌う教材曲が取り上げられている。また、日本の風景や美しい自然の写真、生き物の写真が掲載されている。</p>
<p>五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	
教出	<p>「にっぽんのうたみんなのうた」の題材を中心に、日本の歌唱教材が扱われている。低学年ではわらべ歌、日本の太鼓、中学年では、日本や世界の遊び歌の表現や鑑賞、高学年では日本の民謡、雅楽、世界の音楽や楽器が表現や鑑賞で取り上げられている。折り込みページでは、日本の唱歌が取り上げられ、祭りの様子の写真や日本の伝統芸能（歌舞伎、狂言）、楽器が掲載されている。</p>
教芸	<p>「こころのうた」の中で共通教材が扱われている。低学年では表現教材にわらべうたや唱歌、中学年では鑑賞教材としておはやし、民謡、高学年では、世界の国々の音楽に親しむ題材、日本の箏や尺八、雅楽に親しむ題材が取り上げられている。また、3年からの巻末の鑑賞資料には「郷土の音楽」「郷土の民謡」「日本の楽器」が示されている。裏表紙には1年から6年まで日本各地の「祭りと楽器」の写真が記載されている。</p>

<p>第6条 2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。</p>	
教出	<p>題材部分と各学校や児童の実態に応じて弾力的に選択できる部分が設定されている。学習した内容を生かしてさらに学習を広げる「もっとあそぼう」や「チャレンジ」のコーナーが設定されており、篠笛や箏に挑戦する活動も掲載されている。鑑賞の学習では、知覚したことから感じ取ったことが書けるような記録用紙を例示している。楽器の種類や歴史などについて巻末折り込みにまとめられている。</p>
教芸	<p>6年間を通して、「音色」「拍とリズム」「旋律」「音の重なりや和声」「日本の音楽」などの題材が系統的に設定されている。巻頭の「音楽プリズム」で音楽の意義・役割などが示され、音楽学習への意欲付けがなされている。「音楽づくり」が題材に関連して系統的に配置されている。楽器の運指や音符などの記号について児童自ら確認できるよう巻末にまとめられている。</p>

○学校教育法第30条の内容

<p>第30条 ② 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。</p>	
教出	<p>基礎となる学習(習得)と学習の広がり(活用)の二つの題材に分けられ、各題材のねらいが示されている。学習の振り返り(カエル)や関係資料へのリンクが示されている。共通事項を「音楽のもと」という名前で示しており、各ページに「音楽のもと」の葉のマークが付されている。新出記号は各ページの右端にまとめられている。楽器の運指や音符などの記号が巻末折り込みに「音楽のもと」としてまとめて掲載されている。</p>
教芸	<p>題材のねらい迫るための学習内容(目標)と学習活動が具体的に示されている。クマのキャラクターが学習を行う工夫やヒント、アドバイスをしている。楽譜の下部に関係資料へのリンクが記載されている。【共通事項】を示す言葉が学習目標や学習活動文の中で示されている。巻末の「ふり返りのページ」では、共通事項を踏まえた、理解事項と学習事項がまとめて掲載されている。</p>

○学習指導要領の教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。	
教出	学習のねらいや活動のポイント、共通事項である「音楽のもと」が示されて、巻末の「音楽のもと」のまとめで掲載されている。「にっぽんのうたみんなのうた」として世代を超えて歌い継がれる日本の歌が扱われ、「音楽ランド」の中で各学年に応じた楽曲が掲載されている。
教芸	題材のねらいや学習内容、学習の手立てが示されている。巻末の「ふり返りのページ」で重要な理解事項、学習事項についてまとめて掲載されている。「こころのうた」で共通教材が扱われ、「みんなで楽しく」の中で世代を超えて歌い継がれる日本の歌が掲載されている。

○学習指導要領の教育内容の主な改善事項に関連する内容

言語活動の充実	
教出	児童自らが聴き取ったことや感じ取ったことを言葉で表し、書くことができる記録の表が示され、書いたことをもとに友達に伝える活動が取り上げられている。
教芸	子どもたちの発言例が吹き出しで示され、音楽から感じ取ったことを発表する活動や話し合ったり書いたりする活動が取り上げられている。
伝統や文化に関する教育の充実	
教出	「にっぽんのうたみんなのうた」の題材を中心に、日本の歌唱教材が扱われている。低学年ではわらべ歌、日本の太鼓、中学年では、日本や世界の遊び歌の表現や鑑賞、高学年では日本の民謡、雅楽、世界の音楽や楽器が表現や鑑賞で取り上げられている。折り込みページでは、日本の唱歌が取り上げられ、祭りの様子の写真や日本の伝統芸能(歌舞伎、狂言)、楽器が掲載されている。
教芸	「こころのうた」の中で共通教材を扱っている。低学年では表現教材にわらべうたや唱歌、中学年では鑑賞教材としておはやし、民謡、高学年では、世界の国々の音楽に親しむ題材、日本の箏や尺八、雅楽に親しむ題材が取り上げられている。また、3年からの巻末の鑑賞資料には「郷土の音楽」「郷土の民謡」「日本の楽器」が示されている。裏表紙には1年から6年まで日本各地の「祭りと楽器」の写真が掲載されている。
道徳教育の充実	
教出	わらべ歌や民謡などの学習や富士山やこいのぼりの歌唱、生命・自然を歌った曲が掲載されている。また、合唱や合奏、音楽づくりの表現などで役割を決めたり、協力して活動したりする学習が取り上げられている。1年生から6年生まで全校で歌うことができる合唱奏曲や、教科書のはじめに友情を歌う歌、平和を願う歌、希望をもつ歌が掲載されている。
教芸	わらべ歌や民謡などの学習や富士山やこいのぼりの歌唱、生命・自然を歌った曲が掲載されている。また、合唱や合奏、音楽づくりの表現などで役割を決めたり、協力して活動したりする学習が取り上げられている。3年生から6年生の「こころをつなぐ歌声」では、友達への思いや助け合う心を歌った曲が掲載されている。
体験活動の充実	
教出	身の回りの音を探る体験や篠笛や箏に挑戦するなどの活動が紹介されている。
教芸	箏に親しむ活動として「さくらさくら」を弾く体験が紹介されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

<p>[思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。 (共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育など)</p>	
教出	<p>低学年では友達と仲良く体を動かしたり遊びながら表現する教材が扱われ、中学年ではアンサンブル教材などのグループで表現に取り組む活動、高学年では友達と心を合わせて表現する学習内容が扱われている。1年生から6年生まで全校で歌い、一つの表現活動が行える合唱奏曲が掲載されている。また、全学年「にっぽんのうたみんなのうた」の題材を中心に生命や自然を歌う教材曲が取り上げられている。</p>
教芸	<p>友達とあいさつや握手をしながら楽しく表現活動できる教材が扱われている。3年生から6年生の「心をつなぐ歌声」では、友達への思いや助け合う心の大切さを歌った歌が掲載されている。グループで協力して話し合い、音楽づくりをするなどの活動が取り上げられている。共通教材「こころのうた」を中心に生命や自然を歌う教材曲が取り上げられている。</p>
<p>[たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。 (公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力など)</p>	
教出	<p>低学年では友達と仲良く体を動かしたり遊びながら表現する教材が扱われ、中学年では、アンサンブル教材などのグループで取り組む活動、高学年では、友達と心を合わせて表現する学習内容が扱われている。1年生から6年生まで全校で歌い、一つの表現活動が行える合唱奏曲が掲載されている。</p>
教芸	<p>友達とあいさつや握手をしながら楽しく表現活動できる教材が扱われている。3年生から6年生の「心をつなぐ歌声」では、友達への思いや助け合う心の大切さを歌った歌が掲載されている。グループで協力して話し合い、音楽づくりをするなどの活動が取り上げられている。</p>
<p>[社会とかかわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献できる力を育てる。 (生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動など)</p>	
教出	<p>さまざまな楽器の演奏者、歌劇の役者、祭りでの演奏者や踊る人などが写真で紹介されている。また、作詩、作曲者が紹介されている。4年生から6年生まで巻頭では、演奏家からのメッセージが掲載され、音楽の素晴らしさを伝えている。</p>
教芸	<p>さまざまな楽器の演奏者、日本や世界の祭りで演奏する人や踊る人が写真で紹介されている。3年生から6年生までの巻頭の音楽プリズムでは、様々なテーマで特集ページを設けている。また、巻末には、代表的な作曲家のプロフィールやエピソードを紹介している。</p>

3 内容

	調査研究項目	教出						教芸					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	題材の内容は児童の発達の段階に合っているか。	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適
2	題材数	7	8	8	8	7	7	8	8	7	7	7	7
3	活動のめあてが明記されている箇所数	26	24	23	19	20	17	26	26	19	19	17	16
4	学習の振り返りが明記されている箇所数	4	7	6	6	5	4	6	8	8	3	6	6
5	表現（歌唱）を扱っている曲数	45	36	31	30	31	28	38	34	24	28	28	25
6	歌唱共通教材の扱い	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
7	斉唱歌	45	30	20	13	14	8	38	27	19	17	14	7
8	合唱曲・輪唱	0	6	11	17	17	20	0	8	5	9	14	18
9	世界の国の音楽の曲数	4	7	6	4	1	2	4	8	0	1	5	0
10	我が国の音楽・郷土の音楽を扱っている曲数	14	9	10	10	12	8	16	11	8	9	11	10
11	歌詞の内容について取り上げている箇所	3	3	5	4	4	5	3	9	3	5	4	7
12	呼吸及び発音の仕方について取り上げている箇所数	0	0	2	3	1	1	0	1	1	2	1	1
13	変声への配慮について取り上げられている箇所数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
14	器楽との関連が図られている曲数	9	11	12	8	6	8	11	12	7	10	9	3
15	鑑賞との関連が図られている曲数	8	10	3	5	6	5	20	21	6	16	9	8
16	表現（器楽）を扱っている曲数	12	11	19	16	15	13	12	12	17	14	10	8
17	独奏曲・斉奏	11	5	5	2	2	1	5	3	7	2	1	0
18	合奏曲・二重奏	1	6	14	14	13	12	7	9	10	12	9	8
19	世界の国の音楽の曲数	1	4	6	3	1	0	2	4	1	2	1	0
20	我が国の音楽・郷土の音楽を扱っている曲数	0	0	1	1	3	3	0	0	1	1	1	0
21	歌唱との関連が図られている曲数	12	10	13	9	9	8	12	12	7	13	7	5
22	鑑賞との関連が図られている曲数	3	4	7	5	3	5	11	7	10	10	6	2
23	取り扱っている楽器の種類数	5	12	15	18	14	15	8	11	9	15	13	8
24	表現形態の工夫を取り上げている曲数	2	4	4	7	8	2	1	5	5	4	5	4
25	表現（音楽づくり）を扱っている箇所数	13	9	5	6	5	3	8	5	4	6	3	2
26	記譜について扱っている箇所数	6	4	5	6	5	3	1	4	4	5	2	2
27	鑑賞との関連が図られている箇所数	3	5	1	3	4	2	7	4	2	6	2	1
28	鑑賞を扱っている曲数	13	19	15	35	73	9	8	10	32	53	9	11
29	歌唱曲	4	4	5	2	59	0	4	5	1	5	5	2
30	器楽曲	9	15	10	33	20	9	4	5	9	9	8	9
31	世界の国の音楽の曲数	0	4	5	2	12	0	0	0	0	3	4	5
32	我が国の音楽・郷土の音楽を扱っている曲数	3	5	1	27	57	1	2	2	25	42	2	3
33	表現との関連が図られている曲数	13	16	9	8	11	7	8	10	10	14	9	11
34	共通事項 楽曲と関連付けて共通事項ア（音楽を形づくっている要素）の(ア)(イ)や共通事項イ（音楽にかかわる用語）を適切に取り扱っているか。	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適
35	言語活動を取り入れている箇所数	1	3	3	2	3	4	2	3	4	5	2	2
36	神奈川県に関連のある曲・記述箇所数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1
37	日常生活との関連を図っている箇所数	3	3	0	3	4	2	2	1	2	3	2	2
38	体を動かす活動を扱っている箇所数	14	7	8	5	1	1	15	7	3	1	0	1
39	作詞・作曲者を紹介している箇所数	0	0	0	2	3	8	0	0	1	1	2	1
40	他の教科等との関連のある箇所数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41	多様な音楽や演奏形態を取り上げているか。	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適
42	発展的な学習内容を取り扱っている箇所数	2	6	4	4	6	6	2	2	8	5	7	7

4 構成・分量・装丁

ページ数	教出						教芸					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
表現（歌唱）	45.5	42.5	43.5	41	38.5	46	36	35	32	28.5	36.5	37.5
表現（器楽）	14.5	15	15	15	15.5	11.5	16	13	13	13.5	10.5	11.5
表現（音楽づくり）	7.5	6	2	4	6	5	5	8	7	7	6	4
鑑賞	9.5	11.5	14.5	18	20	19.5	13	14	14	16	12	12
その他	3	5	9	12	10	8	4	4	8	9	9	9
各学年ページ数	80	80	84	90	90	90	74	74	74	74	74	74
23年度版との比較	11%	11%	10%	18%	18%	18%	0	0	0	0	0	0
総ページ数	514						444					
23年度総ページ数	448						444					
23年度版各学年ページ数	72	72	76	76	76	76	74	74	74	74	74	74

領域他のページ数の割合	教出	教芸
表現（歌唱）	50%	46%
表現（器楽）	17%	17%
表現（音楽づくり）	6%	8%
鑑賞	18%	18%
その他	9%	10%

5 表記・表現

	教出						教芸					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
楽譜の表記・大きさ	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適
楽譜の数	32	44	67	83	53	71	45	51	73	79	80	58
図・表・写真・挿絵等の合計数	148	153	169	179	157	133	139	133	163	162	111	120